

## 岐阜県地域公共交通計画の評価について

### 3. 達成目標、施策実施状況に対する評価

#### 【各達成目標の評価】

達成目標

1	JR 東海、名鉄の利用者数
2	地方鉄道 4 社の利用者数
3	広域バス補助対象系統の実車走行キロ当たり年間輸送人員
4	広域バス補助対象系統の利用者 1 人当たり県負担額
5	地域公共交通計画策定済み市町村数

6	GTFS データ整備済み市町村の割合
7	乗合バス車両に占めるノンステップバス車両の割合
8	観光客の公共交通利用率
9	公共交通に対する県民満足度

評価

達成に向けた取組みは着実に進められており、前年度と比較して多くの項目で達成状況が向上している。

一方で、達成目標 4「広域バス路線支援事業費補助金補助対象系統の利用者 1 人当たり県負担額」については、輸送人員の増加が見られたものの、燃料価格や資材価格の高騰等による経費の上昇がそれを上回ったため、前年より数値が悪化した。

また、達成目標 9「公共交通に対する県民満足度」は、県政世論調査における「県の取組でよくやっていると思う分野」の選択肢の一つとして評価されているが、防災対策や高齢者福祉、観光振興など他分野の評価が相対的に高かったことから、公共交通分野の割合が前年より低下したと考えられる。

なお、達成目標 3「広域バス補助対象系統の実車走行キロ当たり年間輸送人員」については、目標値を上回っているが、これは実車走行キロの減少も要因の一つである点に留意が必要である。

## 【今後の取組みの方向性】

- ・引き続き、所要の取組みを継続していくことで、目標達成を目指す。
- ・新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ利用者は回復傾向にあるが、流行前の水準までは戻りきってはいない。その中で、人口減少による利用者減少による収入減や、燃料価格高騰による経費増加、運転手不足など、公共交通をとりまく環境は引き続き厳しい状況が続く。
- ・各交通事業者や行政等が連携し、交通ネットワーク全体の利便性を高めることで、移動したい方が便利に移動できるサービスのあり方を検討していく。